

市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために

活動報告

Vol.25

小池みよ子
後援会会報 vol.25

【発行】

小池みよ子後援会

〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2

TEL 0299-83-5252

携帯電話. 090-1690-0136

所属委員会 都市経済委員会委員長/議会運営委員会/議会改革検討協議会/広報公聴委員会委員長/鹿行広域事務組合議員

議会報告 平成30年度9月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

やっと涼しくなりました。この報告を読んで下さっている皆様にはお変わりないでしょうか。次々にやってくる台風、大雨、地震等の自然災害。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、9月議会最終日に議会は荒れに荒れ、とうとう審議未了ということで廃案になってしまいました。その廃案議案というのは、議員の定数を現在の22人から2人減の20人にとの案件でした。私は議員になる前から定数削減を訴えてきました。少ない人数で最大限の仕事とを考えております。勿論、誰が減数の対象になるのかは神のみぞ知り、有権者の皆様の判断に委ねられているところです。減らされるのは私かもしれません。そういう意味では身を切る覚悟の上での提案でした。議員誰一人として明日の身分保証は約束されてはいないのです。議員定数削減について皆様も一緒に考えてみてください。

9月議会での私の質問をまとめてみました。相変わらず活字が多い広報で読むのも大変かと思いますが、読める範囲でかまいませんので読んでみてください。

これからも「住んで良かった鹿嶋」「住むなら鹿嶋」の実現のために努力を重ねて参ります。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

やっと涼しくなり
毛皮の役立つ季節と
なりました♪



質問 1、災害発生時における避難情報の発信について



Q1 防災無線、かなめーる、だけでだいじょうぶでしょうか

発信についてはこれで万全なのか、大災害時における情報発信についてご答弁をお願いします。

A1 市民生活部長

現状ではこれで万全であると判断はしてございません。これまで整備してきたサービスを市としても周知に努めながら情報発信環境の充実を図ってまいりたいと考えております。

防災行政無線が聞き取れない場合は、テレホンサービス電話番号「77-8161」で確認できます。

Q2 FMかしまの活用法について

FMかしまでのスポット放送で呼びかけるのが今の鹿嶋では最善かなと思います。いつ大災害が起こるかわかりません。FMかしまを活用する手段を平時から計画しておくべきかと。防災無線を発信した後はFMかしまで同じ内容がスポットで流れる。聞き漏らしは減ると思います。市のご見解はいかがでしょうか。

A2 市民生活部長

国から配信されますJアラートにつきましては既にFMかしまの放送に強制的に割り込み放送がされる仕組みを構築しております。しかしながら、その他の通常の防災行政無線放送につきましては、機械的に連動した仕組みの構築は現時点でされておりません。市民に対して緊急性の高い情報につきましては、FMかしまで個別に放送をしていただく状況です。FMかしまの職員が不在のときでも緊急時には放送出来るよう調整に努めさせていただいております。

Q3 受信のためのラジオの設置について・・・防災ラジオ設置と貸し出しについて

防災無線は戸外にいる方が対象で、室内にいる方は対象外とのことですが、ならばFMが聞け、懐中電灯が使い、そして手動で発電ができ、建物に閉じ込められてしまったときにはブザーとしても使える防災ラジオが3,000円台で購入可能です。配布が難しいのであれば、購入補助などを考えてはいかがでしょうか。

A3 市民生活部長

市内の公共施設、福祉施設、多数の市民が利用する施設に設置をしているほか、市内にお住いの視覚障がい者、聴覚障がい者の世帯で市に申請があった世帯に戸別受信機を無料で設置しております。

Q4 鹿嶋市の発令判断基準とその対応について

緊急性の高いものだけは放送して、その他は経済的な理由で出来ないとの答弁でしたが、一体幾らの経費がかかるからそういう放送は今のところ考えていないのか。その辺につきましてご答弁をお願いします。

A4 市民生活部長

FMかしまのJアラートとの連携として850万円。広報スポット放送1回あたり3,000円、30年度の予算計上として300万円を計上している状況です。

↓ ウラ面に続きます。

質問2、ゴミ捨て困難家庭への個別回収の実施について

Q1 ゴミ捨て困難家庭への対応について検討はしたことがありますか

ごみ捨て対応についての検討は、庁舎内でしたことがあるかについてお伺いします。私は、この場で2回程このことについて質問と提案をしています。高齢化社会に向かってゴミ捨て困難家庭への個別回収の施策は、本当に本当に必要と考えられますので再度お伺いします。庁舎内での検討はされましたか。

A1 市民生活部長

市といたしましても様々な観点から個別回収に関する調査検討の方は進めさせていただいております。活動員の確保、活動範囲に地域差が生じてしまう等、公平なサービスの展開が難しいという点が課題となり、本市にとってよりよい支援のあり方について検討してまいります。



Q2 安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために

地域支援は理想ですが私もやってみて無理です。そういう意味で自治体、鹿嶋市の継続的支援、私は全部の世帯にという事は一言も言っていません。ゴミ捨て難民と言われるゴミ捨て困難世帯を対象に立ち上げていただけたらという思いで再度質問させていただいております。杖をついてゴミ袋を提げてゴミ集積所まで行けない、気の毒な高齢者のために、ゴミ個別回収は住み慣れた鹿嶋で安心して住み続けていってもらうために重要な施策ではないかと考えます。

A2 市民生活部長

ごみ出し困難な家庭のごみ処理の方法につきましてはそれぞれ地域での支え合いの中で継続している状況にあると認識しており、福祉の観点から、福祉部門とも連携しながら、慎重に見極めて検討を進めていきたいと考えております。コミュニティ支援型につきましては、支援の仕組みを支援団体が自ら考えて、独自のスタイルで実施するという事も含めまして、地域とのつながりの維持、醸成に寄与する効果も期待されるという事しております。

要望 支え合い体制、ご近所関係が希薄になっている今、「絵に描いた餅」以下のような気がしてなりません。検討するだけでなく、福祉の観点からも前に一歩進んでいただけたらというのが今日の質問の狙いです。期待しております。

質問3、市立図書館の資料代予算について

Q1 県内ワースト4位であることについて

今年度が増えた予算がオリンピック関連図書の購入費で資料代としては増えていない。どのように思うのか、ご答弁をお願い致します。

A1 教育長

他市に先駆けて、学校図書館の整備を進め、昨年度を持って市内小中学校合わせて17校の整備が終了したところです。資料費については、平成24年以降700万円台を推移しており、他市と比較して低い状況にあります。今後計画的な予算確保に努めてまいりたいと考えております。



毎年秋に開催の古本市。売り子やっています♪

Q2 このままで良いと考えるのか

学校図書館の予算と、市立図書館の予算では、片や学校教育費、片や社会教育費と、2本立ての予算で図書購入費というように捉えていかなければと解釈しております。具体的には何年度ぐらいからこの資料代が700万円を超えられるのでしょうか。その辺のところをお聞かせいただきたいと思います。

A2 教育長

学校図書館の整備も一段落してまいりましたので、平成31年度からは計画的に予算の増額の確保に努めてまいりたいと考えております。

Q3 どんどん予算を削ってきた理由は

県も知事が代わってから1,300万円の図書費を増額したと聞いております。首長の図書館に対する思いが、予算取りの中に出て来るのではと思いますが、錦織市長いかがでしょうか。

A3 錦織市長

本市の図書館強化において目指す姿は、地域の知の拠点として市民と共に成長を続ける図書館であります。中央図書館は築33年が過ぎ、施設の大規模な改修工事も見込まれます。改修工事等の計画を見定めながら、今後は平成31年度から計画的な予算措置に努めていきたいと考えております。



質問4、鹿嶋勤労文化会館の自主事業費について

Q1 自主事業費は305万円、そのうち年末の第九演奏会の為、164万5千円、残り140万5千円が勤労文化会館の使える金額。座席数の少ない勤労文化会館において、事業をするのは大変困難なものがあると思います。文化スポーツ事業団として地域の文化を醸成していく上では、もう少し予算取りをしないと、自主事業、ただ開館して貸館をしているだけの事業しかできないのが現状かと思われます。自主事業費についての再考をお願い致します。

A1 教育委員会事務局部長

年末の第九演奏会につきましては、市民活動として定着を図るため、自主事業としている状況です。将来市民の手づくりの音楽祭となるよう「KASIMA第九の会」を結成して育成を進めているところです。

あなたの声を大切に！

ブログも覗いてみてください。



皆さまのご意見もお気軽にお寄せください



完成がめたる平井丘の整備中の道路。

小池みよ子の思い

検索 <http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>